



Technical Information

耐塩水性 サンローズ F350HC-4 のご紹介

～ 耐塩水性試験について～

高分子電解質であるサンローズは、通常、塩化ナトリウム水溶液に溶解しますと、粘度発現性が著しく低下します。これに対し、サンローズ F350HC-4 は塩水中においても優れた粘度発現性を示します。また、高濃度の塩化ナトリウム水溶液に溶解すると、粘度を上昇させることができます。

耐塩水性の試験方法

- ・ 所定濃度の各塩化ナトリウム水溶液に試料を添加し、1%水溶液を約300ml調製する。
- ・ 4時間攪拌(完全溶解)後、25℃に温調し、B型粘度計で粘度を測定する。
- ・ 下式に従い、粘度発現率を算出する。

$$\text{粘度発現率 (\%)} = \text{各濃度の塩水系での粘度} / \text{水系での粘度} \times 100$$

表-1 供試サンプル一覧

銘柄	OD-1%粘度 (mPa·s)	pH	置換度 (M/C ₆)
サンローズ F1400MC	14000	7.0	0.65
サンローズ F800HC	7480	7.0	0.80
サンローズ F350HC-4	3200	7.1	0.92
HEC	5840	6.8	—
MC	2160	4.1	—
ホリアクリル酸カリウム	62800	7.1	—

表-2 耐塩水性試験 OD-1%粘度 (mPa·s)

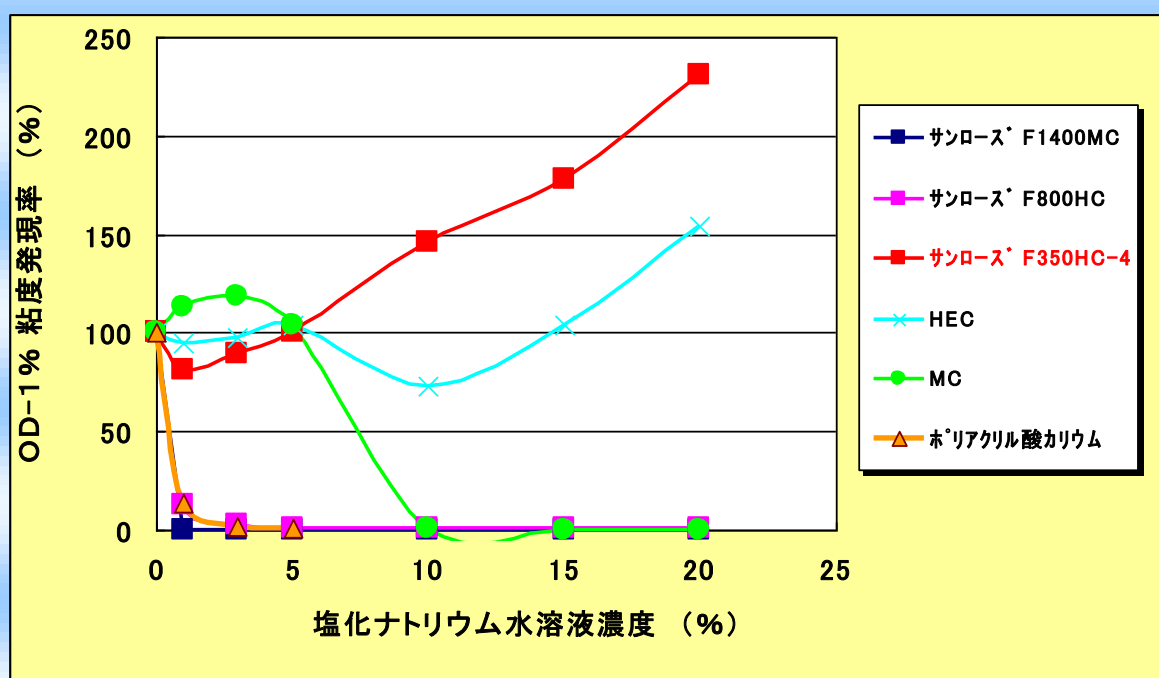
	pH	塩化ナトリウム水溶液濃度 (%)						
		0	1	3	5	10	15	20
サンローズ F1400MC	7.0	14000	25.7	8.5	7.2	7.0	7.0	7.4
サンローズ F800HC	7.0	7480	960	174	82	91.5	68.5	39.5
サンローズ F350HC-4	7.1	3200	2605	2864	3200	4680	5700	7400
HEC	6.8	5840	5560	5700	6100	4260	6100	9000
MC	4.1	2160	2440	2560	2240	16.0	4.5	6.5
ホリアクリル酸カリウム	7.1	62800	8480	1220	300	—	—	—



Technical Information

表-3 耐塩水性試験 OD-1%粘度発現率 (%)

	pH	塩化ナトリウム水溶液濃度 (%)						
		0	1	3	5	10	15	20
サンロース F1400MC	7.0	100	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
サンロース F800HC	7.0	100	12.8	2.3	1.1	1.2	0.9	0.5
サンロース F350HC-4	7.1	100	81.4	89.5	100.0	146.3	178.1	231.3
HEC	6.8	100	95.2	97.6	104.5	72.9	104.5	154.1
MC	4.1	100	113.0	118.5	103.7	0.7	0.2	0.3
ホリアクリル酸カリウム	7.1	100	13.5	1.9	0.5	—	—	—



日本製紙株式会社 ケミカル営業本部

本社 ケミカル営業四部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 (御茶ノ水ソラシティ)

Tel : 03-6665-1056 Fax : 03-6665-0360

ケミカル関西営業部

〒541-0053 大阪府中央区本町3-5-7 御堂筋本町ビル11階

Tel : 06-6262-3800 Fax : 06-6262-3900